

教育センターだより



「教育センター」の仕事

南砺市教育センター 所長 竹田 千春

「どんな仕事しとるがけ？」

「もう、先生やめたが？」

先日、昨年度まで勤務していた小学校の運動会へ出かけました。私を見つけた子供たちが話しかけてくれました。疑問に思っていることは、すぐに聞いて解決したい素直な子供たちです。私は、「先生たちの勉強する会を考えるお仕事してるの。」と答えました。

4月から南砺市教育センターに着任してやがて2カ月が経ちます。私自身、教育センターは「研修を企画・運営する」「教育支援センターを運営する」ところという認識でした。しかし実際には、多様な業務がありました。そして、2カ月の間いろいろな研修に参加して、「センターの仕事」について考えたときに、『情報を発信すること』『対話をする場を提供すること（研修会において）』も大切な仕事だなと感じています。

南砺市は令和6年度中に「第3次南砺市教育振興基本計画」を策定予定ですが、デジタル・シティズンシップ教育が柱の一つになります。センターとしても、夏季休業中にデジタル・シティズンシップ教育やメディア・リテラシー教育に長年携わっておられる、メディア教育研究室代表理事の今度珠美先生や、1人1台端末を活用した個別最適で協働的な授業づくりについて京都教育大学の久保紀一朗先生にご講演をお願いしています。南砺市教育DX推進のために、ぜひ多くの先生方のご参加をお待ちしております。

そして、今年度は「COCOLOプラン」という言葉をよく耳にする年になると思います。文部科学省が2023年3月に発表した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」の名称で、不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指しています。校内教育支援センターや、いおう教室、フリースクール等、一人一人の子供に合った「学び」の環境をみんなで整えていくために、相互に理解や連携を図りながら取組を進めていきます。南砺市小・中・義務教育学校に通う子供たち全員に「学び」の居場所があるよう、支援していかなければいけません。センターにはSSW、特支コの先生がいます。何かありましたら、連絡をしてください。

少しでも皆さんの手助けとなるように、市教育センターでは、『情報を発信』し『対話する場の提供』を意識しながら、「調査研究」「研修」「サービス」「教育相談」の面からサポートしてまいります。限られたスタッフであり微力ではありますが、よろしく願いいたします。

●スタッフ紹介

市教育センター

- ◇ 所 長 竹 田 千 春
 - ◇ 指 導 主 事 員 塚 田 香 織
 - ◇ 技 術 員 高 田 美 由 紀
 - ◇ S S W 兼 特 支 コ 島 田 博 英
 - ◇ S S W 吉 田 美 司 子
 - ◇ 特 支 コ 岡 崎 優 子
 - ◇ I T C E 林 秀 次
- ※ S S W : スクールソーシャルワーカー
 特支コ : 特別支援教育コーディネーター
 ITCE : 情報教育化コーディネーター



近くにお越しの際には、お気軽にお立ち寄りください

南砺市教育支援センター「いおう教室」

いつでも見学に来てくださいね



- 場 所 : 福光青少年センター 3階
南砺市福光1137-2
- 電話・FAX : 0763-52-5593
- 対 象 : 南砺市内の小・中学生
- 教室開室 : 月～金曜日 午前9時～午後3時
- 主な活動 : 学習、運動(卓球等)、読書
パソコン、制作活動、調理
ボードゲーム等みんなでやる活動
もあります。

◇ 指 導 員
松 村 朝 美 中 山 登
大 浦 香 代 清 玄 寺 真 佐 子
西 村 美 勝

●今年度の事業について



(1) 調査研究事業

事業名	委員長	委員	回数	期間	内 容
中学校 社会科資料	大浦 瑞紀 (利賀学舎 教頭)	5名	2回	6～9月	・中学校社会科資料「身近な地域の学習—歴史編—」 ・中学校「南砺市地図」改訂、印刷
小学校 理科資料	澤田 雅恵 (井波小 教頭)	5名	2回	6～9月	・小学校理科資料「大地のつくり」改訂、印刷
体力づくり	山崎 洋 (福光中 教頭)	10名	1回	7月	・体力づくり対策推進について、中学校校区での課題 に対する取組を確認する。
I C T 推 進	藤田 稔 (利賀学舎 教頭)	17名	3回	6～2月	・発達段階に応じた情報活用能力の指標の作成 ・デジタル・シティズンシップ教育の情報提供 ・遠隔協働学習に関わる取組の事例収集

(2) これからの研修事業

※ 詳細は各研修会の要項等でお知らせいたします。

研 修 会 名	実施日時	会 場	講 師
特別支援教育コーディネーター研修会	6月3日(月)	南砺市役所	富山県総合教育センター教育相談部 研究主事 瀧川 江利香 先生 西部教育事務所 研究主事 植野 雄太 先生 砺波総合支援学校 特別支援教育コーディネーター 秋元 友紀 先生
◆スタディ・メイト等 研修会	6月26日(水)	南砺市地域包括 ケアセンター	富山県総合教育センター教育相談部 研究主事 山本 智恵子 先生 片平 尚美 先生
◆学校図書館研修会	7月10日(水)	南砺市立 南砺つばき学舎	南砺市立中央図書館 司書 大谷 聖枝 先生
★特別支援教育研修会	7月25日(木)	砺波市立 砺波北部小学校	富山県発達障害者支援センター 「ほっぷ」より招請
◆I C T 活用研修会	7月29日(月)	オンライン	一般社団法人メディア教室研究室 代表理事 今度 珠美 先生
◆英語指導法研修会	7月29日(月)	砺波市立 砺波東部小学校	放送大学 特任教授 佐藤 幸江 先生
◆実技指導法研修会 (図画工作科)	7月30日(火)	砺波市立 庄川小学校	富山大学教育学部 非常勤講師 小野 美恵子 先生
プログラミング学習研修会 A【5年算数担当悉皆】 B【6年理科担当悉皆】	8月1日(木) 8月2日(金)	南砺市立 福野小学校 福光中部小学校	南砺市教育センター I T C E 林 秀次 先生
★資質能力向上研修会	8月2日(金)	小矢部市民交流 プラザ	株式会社よしともコミュニケーションズ 代表取締役社長 高澤 由美 先生
★授業力向上研修会	8月5日(月)	南砺市地域包括 ケアセンター	京都教育大学 教職キャリア高度化センター 講師 大久保 紀一朗 先生

南砺市教育講演会 【悉皆】	8月9日(金)	井波総合文化センター	南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一 先生
★授業力向上研修	8月20日(火)	小矢部市内	富山県文化財保護指導委員 山本 善継 先生
★授業力向上研修会 (ステップアップ研修)	6～2月	市内小・中・義務 教育学校	南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一 先生

★…地区協業研修 ◆…3市交流研修 ※ 9月以降の研修については、次号でお知らせします。

ご利用ください

教育センターが行う事業・サービス(一部)

教育相談事業

教育支援センターにはスクールソーシャルワーカー、特別支援教育コーディネーターが在籍しています。また、公認心理師・臨床心理士による「クローバー相談会」も実施しています。事業を利用されたい場合は、お電話ください。

教科書・資料・教材の貸し出し

教育センターには教科書が揃っています。現在採用されているもの以外の教科書も準備しています。また、特別支援教育や特別活動、外国語教育に関する資料や教材、マイクロビット教材等の貸し出しも行っていきます。



スクールバスの活用

校外学習等の際に、スクールバスの使用が可能です。ただし、各小学校の下校時間に支障がないように計画してください。(時間については高田まで相談してください)

また、出発の2週間前までには利用申請書の提出をお願いします。



教育センター

視聴覚教材・備品等の貸し出し

プロジェクターの貸し出しを行っています。利用を希望される場合は、早めに電話で問合せをいただき、事前予約をお願いします。

校外学習の際にはAEDもご利用ください。



●これまでの研修より

※ 各研修会の様子をHPに随時アップしています。

市教育センター 3市交流研修 栽培学習指導法研修会

- 日時 令和6年4月10日(水) 15:30～16:30
- 会場 南砺市立城端小学校
- 講師 南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一 先生
- 参加者 30名 砺波地区保・認・幼・小・中・義務教育学校教職員
- 内容 栽培学習を通じた子供の学びの指導法



・講義「学びを確実にする栽培活動」

- …何のための栽培活動か？
- …実践例の紹介(教えることと任せること、やりたくなる活動、子供の願いに直結した自己決定)
- …教員は何をしなければならないのか(活動意欲、意欲の継続、非認知能力の育成)

<参加者の感想より>

- ・研修会を通して、いかに子供の願いや思いに寄り添えるかが大切だと感じた。子供が思いをもって自己選択できた経験は心に残り、自信になると思う。先回りせず、思いをよく聞き、向き合っていきたい。
- ・教師の裁量が多い授業や他クラスと足並みを揃える活動を取り入れてしまいがちだったことに気付けた。子供は「学」だけでなく「心」も育つ。自分が先頭となって、「心」を本気になって子供に見せなくてはならないと感じた。
- ・教えるべきことと、判断を任せることがあると分かり、子供の主体性を大切にしていきたいと改めて感じた。子供の「願い」を大切にしながら、授業をしていきたい。

市教育センター研修 外国語教育小中連携研修会

- 日時 令和6年5月1日（水） 14:00～16:30
- 会場 南砺市役所 大ホール
- 講師 西部教育事務所 主任指導主事 宮城 渉 先生
- 参加者 13名 市内小・中・義務教育学校
英語専科教員、英語科教員
- 内容 小中連携における英語の授業の在り方



- ・講義「小中連携を意識した授業づくり」
…小・中接続の重要性、小・中における外国語教育の目的、「言語活動を通して」とはどのようなことか、全国学力・学習状況調査問題から見えること
- ・情報交換…それぞれの授業で留意していることや工夫点、使用している教材の紹介、タブレット端末の活用について

<参加者の感想より>

- ・言語活動に「取り組ませながら」育成するということの意味を確認し、自分の授業を振り返ることができた。つついシートを準備したり練習させたりした上で活動を行っていたので、まずやらせてみて、中間の振り返りを通して指導するということを実践してみたいと思った。
- ・文字に対する指導について、小中の目標の違いや、フォニックス指導について共有できたので今後の指導に生かしていきたい。
- ・小学校での履修事項が確認できてよかった。それを踏まえて、中学校では何から始めるべきかを知ることができた。

市教育センター研修 3市交流研修 通級指導教室担当者等研修会

- 日時 令和6年5月8日（木） 15:00～16:45
- 会場 南砺市役所 大ホール
- 講師 富山大学大学院教職実践開発研究科
教授 石津 憲一郎 先生
- 参加者 21名 砺波地区内小・中・義務教育学校
通級指導教室等担当者
- 内容 「通級指導教室の指導の実際」



- ・講義「通級指導教室の指導の実際」
…通級指導教室の役割や目的（障害や特性に応じた個別の支援を受ける権利の保障、学習面・情緒面・行動面における一人一人の状況に応じた支援、設置数や通級児童生徒数の増加）
…事例についての演習、グループ協議
…アプローチの留意点（二次障害を防ぐ、子供の感情や欲求を捉える、自己理解や振り返り体験、承認戦略、強化の方法、環境の調整）

<参加者の感想より>

- ・「大事なのは味方であること」と石津先生が最後に話されたように、まずは生徒の困り感の理解に努め、生徒に安心感を与えられるような信頼関係を築きたい。
- ・「こんな思いをしてまで勉強したくない」という子供に対して、「こんな思い」を共有した上での支援を行わないと成り立たない、という点がもっとも心に残った。「この人は味方」（=口だけでなく一緒に体を動かしてくれる人）と子供に受け止めてもらえるよう、心がけたい。